

あいち病害虫情報 最新情報

令和3年10月15日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

向こう1か月の気温はほぼ平年並

名古屋地方気象台10月14日発表の1か月予報によると、向こう1か月は、気温ほぼ平年並の見込みです。また、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は少ない見込みです。

果樹の病害虫

果樹カメムシ類であるチャバネアオカメムシについて、豊橋市及び新城市に設置した予察灯における誘殺数は8月下旬に急増し、その後は平年並に落ち着きましたが、10月に入り誘殺数が再び増加しはじめました。今後、発生が増えることが予想されますので、ほ場での発生状況に注意してください。

ナシ黒星病の発生が多かったほ場では、次作への伝染源をなくすことが重要です。落葉の処理やりん片への感染を防ぐ農薬散布を実施しましょう。

ハクサイはべと病の発生に注意！

10月上旬の巡回調査で、一部のほ場でべと病の発生が確認されました。降雨が多く、日照が少ない場合に多発しやすくなります。ほ場での発生状況に注意し、発生初期に薬剤散布しましょう。散布は葉裏にも薬剤がよくかかるように行いましょう。

キャベツ黒腐病などの細菌性の病害に注意

キャベツ黒腐病やキャベツ及びハクサイの軟腐病など細菌が原因となる病害は、風雨により発生が助長されます。降雨が続くと予想される場合や、台風などの激しい風雨が予想される場合は、降雨前後に抗生物質剤や銅水和剤などで予防しましょう。昨年度に発生の多かったほ場では特に注意しましょう。なお、銅水和剤を用いる場合は、炭酸カルシウム水和剤（クレフノンなど）を加用して、薬害の発生を防ぎましょう。

チョウ目害虫の発生に注意

コナガの10月上旬のキャベツほ場、ハクサイほ場における発生量は平年並でしたが、フェロモントラップにおける誘殺数が多い地域があります。

ハスモンヨトウの10月上旬のキャベツほ場における発生量は平年並です。フェロモントラップにおける誘殺数はほぼ平年並です。

シロイチモジヨトウの10月上旬のキャベツほ場における発生量は平年並です。フェロモントラップにおける誘殺数は平年並ですが、一部やや多い地域があります。

オオタバコガの10月上旬のキャベツほ場における発生量はやや多く、フェロモントラッ